

7号館外観



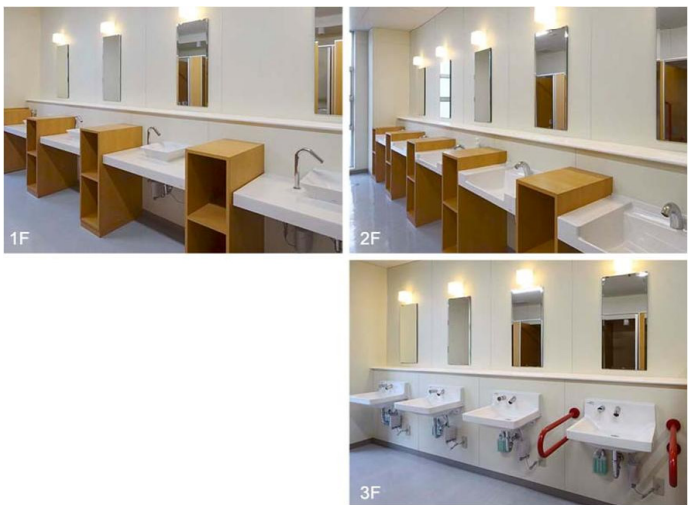
173,000平方メートルの広大な敷地面積を誇るキャンパスは、「相模大野駅」より徒歩10分のアクセス。7号館は、1981年竣工。大小の講義室、自習室を備えている。

7号館1F女性トイレ 改修後



整然とした印象の内装は、学芸学部生活デザイン学科の学生によるデザイン。各ブースの照明は、省エネのため人感センサータイプを採用している。（左上写真）

7号館女性トイレ 1F～3F洗面器コーナー



フロアごとにデザインの異なる洗面器を採用し、空間のイメージに変化をもたせている。1Fと2Fは器具間に荷物置き用の棚を設置している。

7号館1F女性トイレ 改修前



在学生だけでなく入学希望者など外部者の利用頻度が高い7号館1Fの改修前トイレ。空間・設備とも経年のため旧態化していた。トイレは入学選定の際に重要視されることから、大規模改修に着手された。

7号館1F女性トイレ 大便器ブース



便器詰まりに対応可能な掃除口付フラッシュタンク式大便器を採用。プライバシーと節水に配慮した擬音装置を壁面に設置している。

7号館3F女性トイレ 手すりつきブース



入口付近のブースは、さまざまな身体状況の学生に配慮した手すり付き仕様。ウォシュレットのリモコンは押すたびに発電する乾電池不要のエコリモコンタイプを採用した。

7号館3F女性トイレ パウダーコーナー



上段棚には、化粧道具の転落防止のためストッパーを設置。教科書等学生の手荷物に配慮された下段の棚板は、荷物の落下を防ぐため、奥に向けての傾斜棚となっている。

6号館女性トイレ 洗面・パウダーコーナー

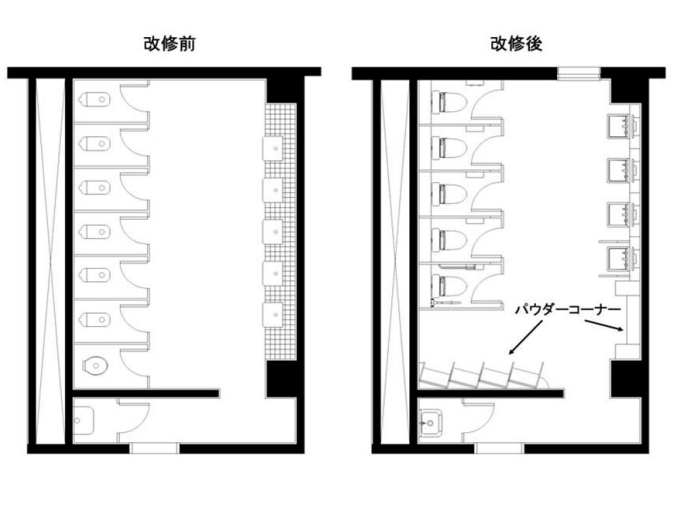


壁掛自動洗面器は斜めアプローチしやすく水はねしにくいと好評。パウダーコーナーの鏡には上半身が映るサイズを選定。壁面のアクセントカラーや照明器具は学生によるこだわりのデザイン。

建築概要

名 称	相模女子大学
所 在 地	神奈川県相模原市南区文京2-1-1
施 主	学校法人 相模女子大学
建 築 施 工	株式会社櫻内工務店
設 備 施 工	株式会社小池設備
竣 工 年 月	（改修）2015年12月

7号館3F女性トイレ 図面



図書館棟 2F・3F女性トイレ



大便器ブース内には荷物置きや着替え用のベンチとフィッティングボードを設置。洗面まわりは、カウンターと鏡を延長し、パウダーコーナーとして活用している。

水まわりの特長

<施設の概要>
相模女子大学は、明治33（1900）年に創設された日本女学校を母体とし、日本で4番目に古い女子大となる歴史ある大学。四季の変化を感じられる広大なキャンパスでは、少人数制によるきめ細かい教育が行われている。

<改修の経緯>
経年劣化が目立つようになり、学生サービスの向上・充実を図り、学生の満足度を高めることを目的に、学内トイレ19ヶ所をリニューアルすることになった。女性ならではの発想力とデザインスキルを活かすため、学芸学部生活デザイン学科の学生から選抜された5人のメンバーと、大学管財課によるトイレ改修プロジェクトを発足。女性目線を生かし、棟によって壁面の色や材質を異なったものにするなどの工夫が凝らされている。改修後の意識調査では、98%の学生が「（快適性に）非常に効果がある」と回答している。

<トイレの特長>
7号館3Fトイレには、学内で初めてパウダーコーナーを設置。角度をつけたリ仕切りを設けたことで、落ち着いてメイクができるようになった。また、洗面器まわりはフロアごとにデザインの異なるタイプとし、器具間に棚を設置することで、かばん等を濡らさずに置けるように工夫している。